

海田

# Critical Point

成人向  
ADULT-ONLY

— ~~WOLKENKRATZER~~ —  
006

**Critical Point**



**2001.summer**

**梵天鴉**

捕獲するのに大分  
手間取ったそうだな

はっ・

……

ほう……これがあの  
イプシロンの遺伝子情報を  
上回るという  
新しい実験体か

コンニチハ

そして当研究所へ  
ようこそ……

そんなに緊張しないで  
くれたまえ  
君は我々にとって  
大切なサンプルなのだ

VIP待遇で  
お迎えしますよ



.....!!  
あなた達ね

クククク...

兄さんの身体を材料に  
人体実験をやっていた  
集団というのは

ハハハ.....  
イブシロン計画について  
御存知なら話は早い  
それなら我々が何をやっているのか  
おおかた想像もつくでしょう

試験体「イブシロン」の実妹にして  
より優性な遺伝子情報をもつ  
天神流くの一  
君にはこれから我々の理想実現の為に  
その身に協力してもらおう

じよっ冗談じゃないわ!  
なんで私が.....

君でなくては  
いけないのだよ



残念ながら彼女には  
当研究以外で我々との  
協力をしてもらう事にな  
ったよ・・・



ハラハラ



同じ天神流でも君と比べ  
有益な遺伝子情報を持つ  
サンプルが見つからなくてね  
彼女にも期待はしたのだが

ガガガガ



はうっ..ん  
スッポッポッ  
スッポッ

あふうっ

ああっ

当研究所の様な外の世界と完全に隔離された  
施設では娯楽も限られてしまつてね  
この閉鎖的空間で働く我々のストレスに対する  
「娯楽」は研究を円滑に進める上で必要不可欠  
な要素でもあるのだよ  
彼女にはその娯楽のために文字通り  
一肌脱いでもらう事になった

スッポッ  
スッポッ  
スッポッ

グググ

グググ

グググ

グググ





あ……

彼女は皆にとっても好評でね  
いつも引つ張りだこで  
暇が無い程の盛況ぶりだ  
私もよく世話になつてるよ



驚いたかね？

んうっ

どろろ

ぐんぐん  
どろろ  
ぐんぐん  
ちゅ

ぶじぶじ



んあああう



君にも研究の傍ら  
いただこう……



ハッぞろぞろじじいのやしくれてやったらどうだ?

彼女一人で我々全員の相手は少々きついだろうからね 君にも頑張ってもらおうというわけだ

ちやう



ああダメ... いったい... いく

ずりゃ ちゅく



ズヤッ

コイツはケツでいくのがたいそうお気に入りだから またこれでキメてもらおうか



がりゅ ちゅく

ひあああああああ

ああっ... あ





さて事を始める前に君に  
暴れてもらっても困るんでね  
そのまえにだ、君に会わせたい  
人物がいるんだが…

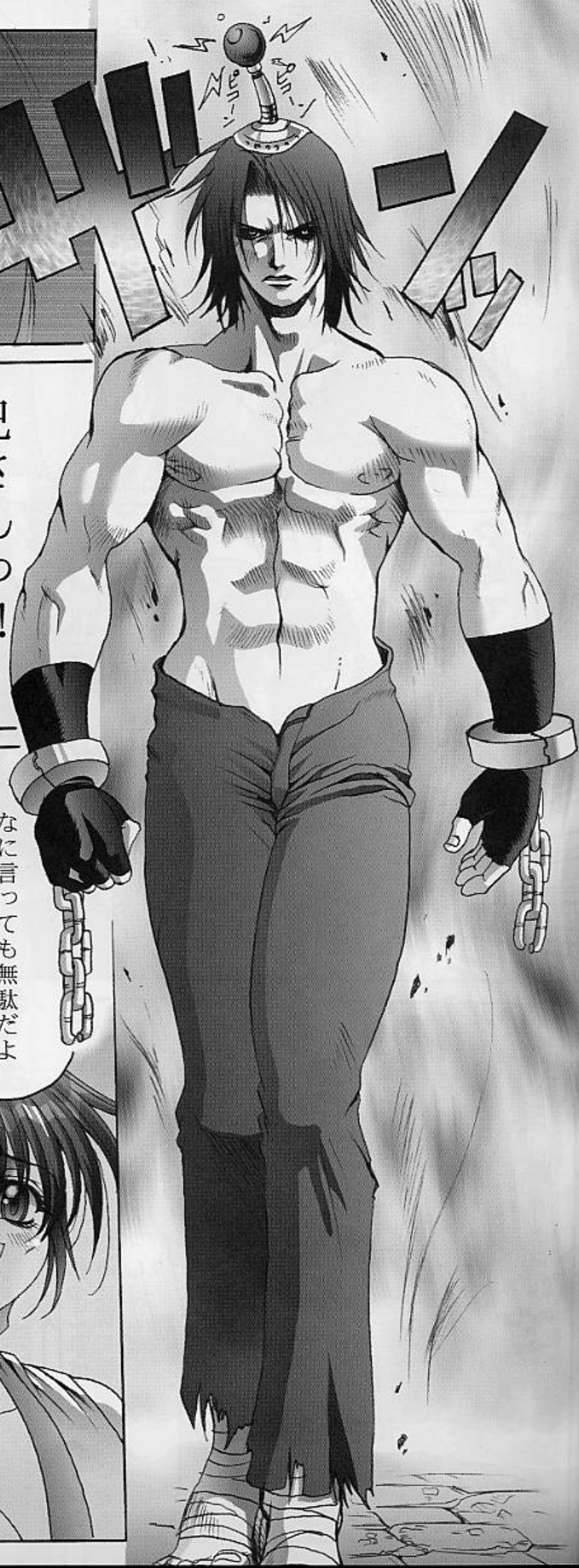




兄さんっ!!



なに言っても無駄だよ  
彼には我々に逆らえないよう  
洗脳を施してある







ちなみに彼の挙動は全て  
これで制御が可能だね  
何かさせてみようか

例えばだ...



ホレこの通り  
彼の意志に関係なく  
我々の思いのまま!!  
鼻くそだつてほじれちゃう  
面白いだろう

何させるのよー!!  
やめてーっ!!

ちよっ  
ちよっ!!



ほれっこれは放屁スイッチ  
ちなみに稀に実がでること  
しばしば...

きやあああ

いやあああ

か子 汗 汗 汗

ぽんぽん ぽんぽん ぽんぽん

さーて これで  
分かってもらえたかな

君がもし我々に従わない場合  
その代償は全て彼に償ってもら  
つまり彼は我々が君に対して  
用意した最高の保険ってワケだ  
私達は君たちほど身体が丈夫には  
できていないのでね  
暴れてもらっては困るんだな

そっそんなの卑怯よ!!  
それでもあなた達……

何とでも言いたまえ  
君はこの研究所の客人として  
招かれたのではないのだよ  
彼を守りたいのなら素直に  
言うことを聞くことだな

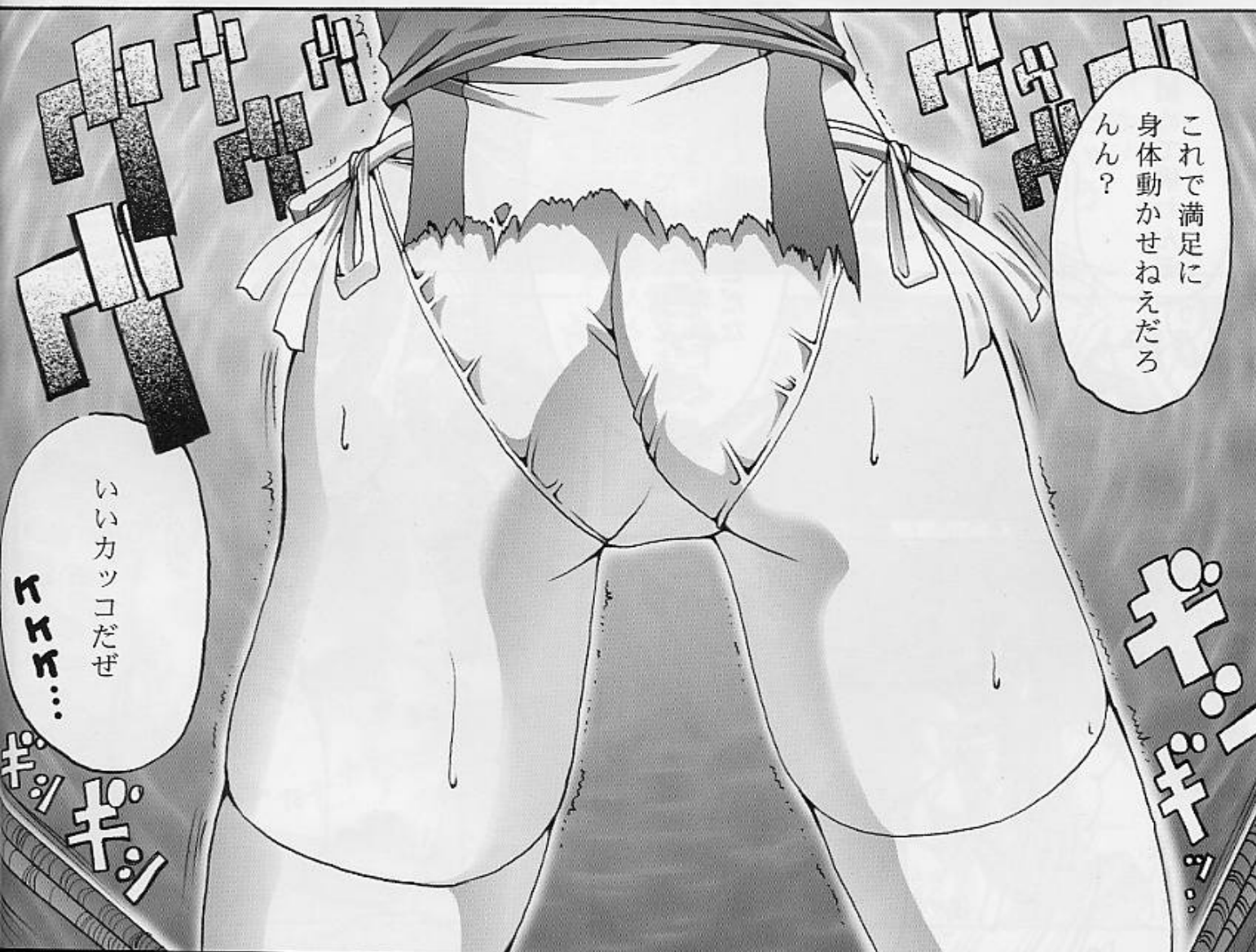
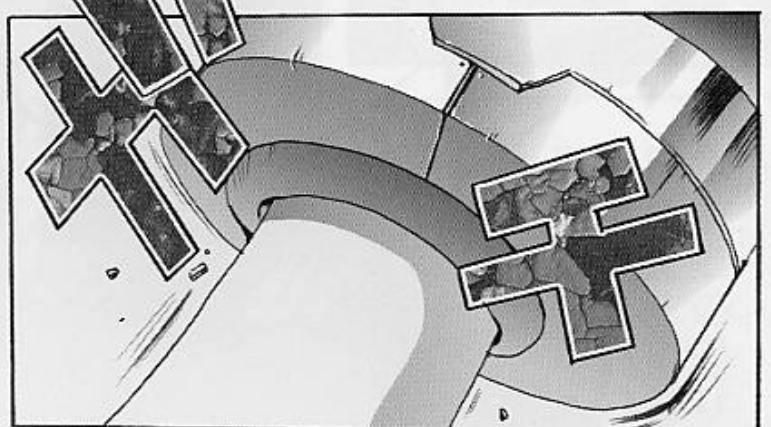
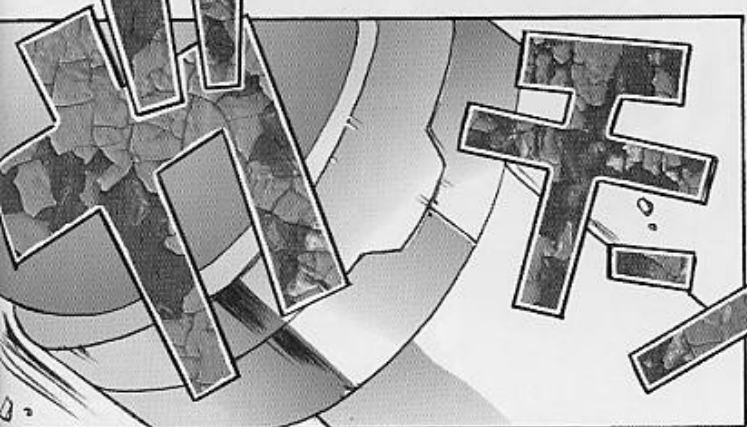
おい  
始めて構わんぞ

おらっ来い!!





おらっ  
こっちに手えかしな



これで満足に  
身体動かせねえだろ  
んん？

いいカッコだぜ  
クク...

ギ  
ギ





オパイコちゃん  
初めましてー!!

そんじやまずは  
その御自慢のバストから  
拝見させてもらおうか  
んん？

ああっ……

ア  
ハ  
ル



おうおうおうおう……  
なかなかネプリがいのありそうな  
モノ持ってんじやねえか  
こりゃホントに楽しみだ

あ……

ギ  
ギ  
ギ

あ……

ガ  
ガ

むっふっふっふっふっふー  
そんじゃあ早速その  
オパイコちゃんに  
お世話になろうかなあ



ああっ  
やあっ

あ

ほーらどうだい？  
実は嫌がってる様でも  
ホントは少し感じてん  
じゃないのかなあ？







ツハー・・・んーんう  
この感触たまんないねえ  
肌が吸い付いてくるよオイ



ほっほう・・・  
こっちの方もなかなかうまそうだな  
感度も良さ気そうじゃねえか



ああああ・・・  
あうっ・・・あ



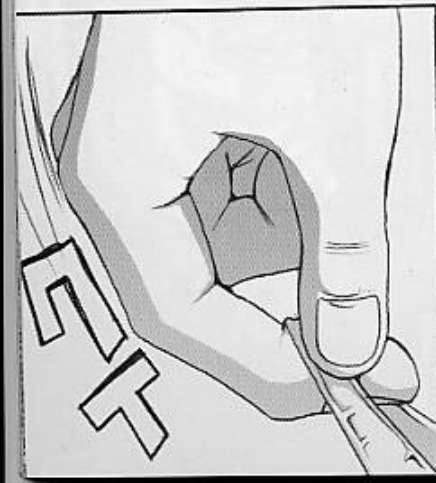
あ……ああ……  
や……やめてお願い……

ピッ  
ムムム

カッ  
カッ  
カッ  
ヒッ……



そんな  
これはどうだ？



カッ



これこれ、この感触だよ  
たまんないねえ  
匂いと柔らかさといい  
病みつきになるなこりや

やっ……だめ  
顔を離してえ!!

カッ

カッ  
カッ  
カッ



ひあああつ  
ああああ・

やめてえっ・・・  
そんなに引張ったら  
喰い込んじゃう・・・

あー？だめだめ  
そんなこと言っても  
体は感じてるようだけ

ふー・・・

ふーっ

キリキリ

あ

あ



そんなじゃ  
ボクチンも協力して  
あげようかな

ほーらほらほら  
もっと甘い声で  
鳴いて欲しいぞなもし



!!



お願い・・・  
やめてえ・・・っ

はあ  
ふる

だめ・・・  
そんなに刺激したらでちやう







あああああ...  
ああ



したいんでしょ



無理しないで  
ここで出してさ...  
スッキリしちやえば



なかなか今の君によくお似合い  
だと思うんだなあそのポーズ  
ほらよくワンちゃんとか  
お散歩の時とかするよね

電柱とかにさ

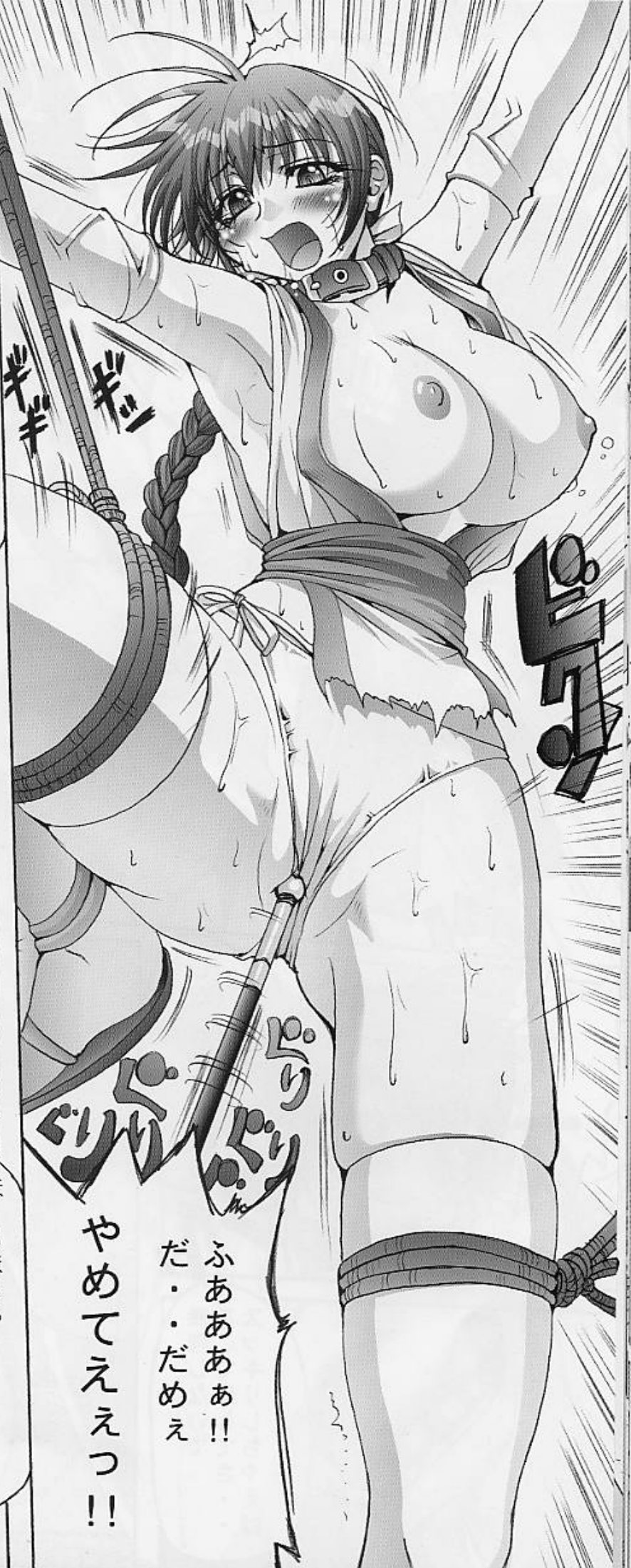




ひぐっ・だ・だめ  
そんなに刺激しないでえ  
はひっ・いいい  
お・お願いい・



ほーらほらあ・  
ここから出したいんですよ？  
このままの状態ですつまで  
我慢が続くのかなあ？



ふああああ!!  
だ・だめえ  
やめてええつ!!



君の恥ずかしいところ  
披露してあげなよ



ギョ  
ひぎっ!?



後ろで君の愛しい  
お兄様もしっかり  
見てくれているし



うひゃひゃひゃ  
ほれっ出しちゃえっ  
全部出しちゃえっ

おしっこ出ちやうっ  
お...



あひいあ...お...  
お願い...おトイレに  
いかせてえええっ!!



出るっ  
出ちやうっ  
もうダメエッ  
はひっ









おーらもっと  
気い入れてしごけよ



はあ

おーし良い具合だ・・その調子で  
しっかり楽しませてくれよ  
なんつつてもお前エの大事な  
お兄様の為だからな・・・



・は  
・  
・  
・  
・

今度はその口で  
奉仕してもらおうかあ  
歯立てんなよ



ぎ  
ぎ  
ぎ  
んんうっ

グッ

んぐう

ぢゃん

うぐうん・  
んんっんーっ!!







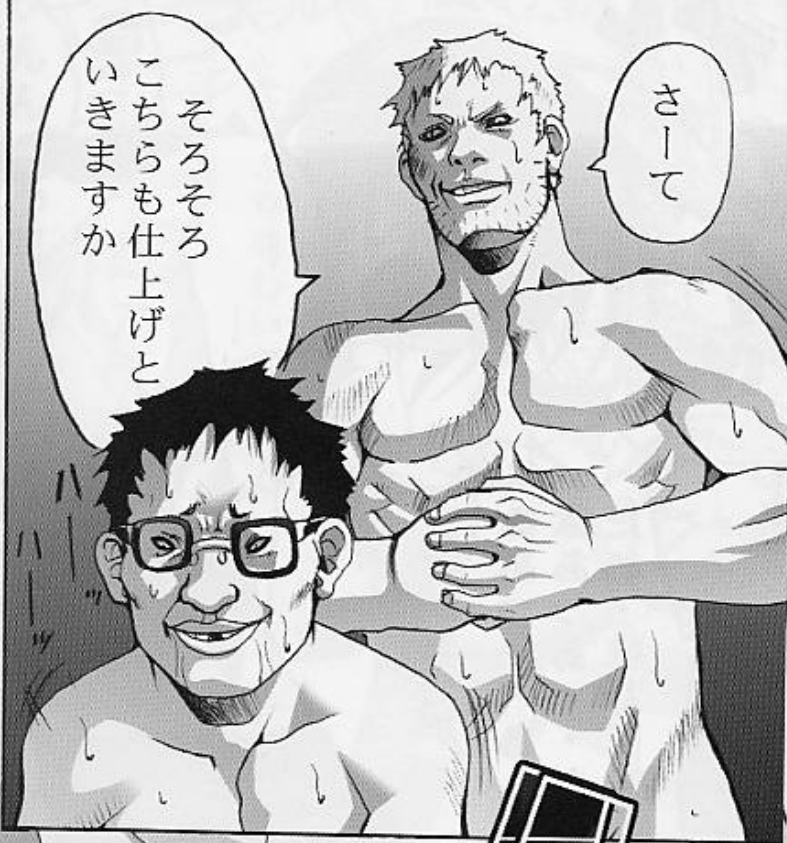






あひいっ!?

まずは俺から先に  
ただだかせてもらうぜ



さーて

そろそろ  
こちらも仕上げと  
いきますか



あはああっああ  
ふああああっつっ  
ああん



ああんっ

あはああっ  
ああっ



へへへ……  
このしまり具合……  
たまんねえぜ



ああつく……  
だ・だめ

あひっ・  
イツちや・  
ああああっ





ふあっ・・うああ  
ああああーっ

そーらいくぞ

[Redacted text block]

それから私は此処で研究材料として扱われる傍らこの閉鎖された環境に充滿する陰鬱な欲望の相手を強いられる日々が延々と続くこととなった。いつしか研究よりもこの行為に没頭していく状況下で私の体は感情とは裏腹にその異常な感覚に捕らわれ飼いならされていく……



当然その行為に没頭するあまり当初の目的のはずだった超人創造への研究は大幅に遅れその結果が形になるのにさらに時間の浪費を必要とした。そして私がこの狂気から抜け出して数ヶ月後……



超人誕生です  
所長!!



ペケ箱買うかどうか  
考え中.....

(梵天)



おちまい。



いやー...そのー  
少々僕らもぶっかけ過ぎたとい  
いますか...そのまま  
サンプル取ったりしてたんで  
ハハハ...

ハハハハ  
面白  
超人大し

## あとがき

どうも御無沙汰してます。梵天鴉です。えー1年ぶりでしょうか・・・新刊出すの・・・前回えらく中途半端にしまして買ってくれた人には申し訳ないことしました。そんで前回の本を完成させて新刊にしようと思ったんだけど1年前の原稿いじるより全部書き直そうかというコトになって今回の本、久しぶりにページが揃ったんだけどねえ・・・ネタのマンネリ化に少し凹んでるですなあコレが。

なんかいつの間にかうちのサークルって固定キャラでしか描かないみたいな感じにとられているようで・・・まあ・・・そりゃあそうかもうココ何冊か全部ネタこれだもんな・・・

でもほかに描くようなのも無いしなあ・・・でもいい加減次はもう違うの描こうかと思っちょります。でもまた来年の話かな・・・(でも3連発)ホントはサクラ3のメルとシー描こうかと思っただけで流石に1年後じゃネタ的に厳しいかなあ。しかもコレ途中までしかやってません。つーか最近ゲームしとりません。

実はもうかなりオイドン体にガタ来ちょります。そんなわけで多分今年もコノ新刊で最後でしょうな・・・すんまそん。

ああっそうそう前回御菓子差し入れしてくださった方(日本語変だ)ありがとうございます。うれしかったでございます。

そして美味しゅうございました。

えーと最後に今回初めてフルデータ入稿なんでちゃんとできてるかドキドキです

トンボとかグレー階調とかいろいろ不安要素ぎっしり・・・

うまくいってるといいなあ。

これで次回の本創りのイイ参考になることを祈りつつ・・・

それではまた新刊を出せるその時までご機嫌よう



**奥付**

**発行 Wolkenkratzer**

**発行者 梵天鴉**

**発行日 2001.8.12**

**印刷所 PICO 様**

**連絡先**

**埼玉県桶川市**

**寿2-16-10**

**くれたけ荘1F-12C**

**横尾方 梵天鴉**

**18歳未満購読禁止  
無断複製禁止  
無断転載禁止**

— Wolkenkratzer —

006